



砂場で一緒に泥遊び

尚綱短大生、園児と交流

熊本市の尚綱短大幼児教育学科の2年生7人が1日、山都町の浜町保育園を訪れ、泥遊びなどで園児約30人と交流した。保育士や幼稚園教諭を目指す学生に、豊かな自然を生かした保育を学んでもらうのが目的。

浜町保育園は町内の有機農業生産者グループの協力で、熊本市の保育園と合同で田植えや稲刈りを毎年実施。尚綱短大の増淵千保美准教授

(42)が保護者で参加していた縁で、訪問が実現した。

近くの矢部同和保育園の園児も加わり、学生たちは一緒に駆け回ったり、砂場で泥だらけになったりして大はしゃぎ。合志咲彩さん(19)は「泥遊びは久しぶり。子どもたちが考える遊びの発想は「すごい」と話した。」

(白杵大介)

